

25年10月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成25年 9月20日～ 10月10日

2. 調査実施方法

全国の製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は19社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合]×2+[「やや増加」の評価を行った回答の割合]-[「減少」の評価を行った回答の割合]×2-[「やや減少」の評価を行った回答の割合]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月	
入荷動向	スギ	20.0	40.0	20.0
	ヒノキ	6.3	25.0	12.5
	カラマツ	△ 100.0	0.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	16.7
消費動向	スギ	15.0	25.0	20.0
	ヒノキ	25.0	18.8	12.5
	カラマツ	100.0	100.0	100.0
	トドマツ	16.7	16.7	16.7
在庫動向	スギ	△ 16.7	△ 27.8	△ 22.2
	ヒノキ	△ 37.5	△ 18.8	△ 25.0
	カラマツ	△ 100.0	△ 100.0	△ 50.0
	トドマツ	△ 33.3	0.0	0.0

入荷は、スギ及びヒノキはプラス基調で推移、カラマツは10月の大きなマイナスが11月の横ばいを経て12月は大きなプラスに、トドマツは10、11月の横ばいが12月にはプラスの。
消費は、スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツともにプラス基調で推移、特にカラマツは大きなプラス。
在庫は、スギ、ヒノキ、カラマツともにマイナス基調で推移、トドマツは10月のマイナスが11、12月は横ばいで推移。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
スギ	50.0	30.0	5.0
ヒノキ	50.0	25.0	6.3
カラマツ	16.7	50.0	50.0
トドマツ	0.0	50.0	50.0

スギ、ヒノキともに10月の強含み・強保合から12月に向け保合に、カラマツは強保合、トドマツは保合から強保合に。

モニターからのコメント

(原木荷動き)・トドマツ原木は8月中旬からの長雨で山から出材できず、工場原木在庫が少なくなったところが多い。工場稼働は悪くないが、オーダーが殺到するわけでないので消費は横ばい。国有林素材生産開始が遅れたこと、システム販売を優先したことから素材公売数量少なく道東での在庫状況厳しく落札額が高値になっている。入荷は原木市場からの毎月仕入れは思ったような量がまとまらず苦勞、消費は受注増に残業で対応、在庫は虫害材が残っており控え気味。入荷は思ったほど増加していない、消費は旺盛な買い意欲。・スギ、ヒノキ原木出材増、各製材所在庫少なく、少々増えても引き合い強い。もう一段の増加を希望。生産は一段と増加、丸太消費も増え、在庫少ない。・天候不順、森林整備方針のずれにより慢性的にカラマツは不足。需要の回復感(?)、消費増税駆け込み需要に対する積み増しで産業用途向けの仕事忙しい。住宅向けも同様であるが現場が進んでおらず出荷はそれなり。・スギ、ヒノキとも必要な丸太が揃わない。消費はスギ、ヒノキとも生産能力次第。需要期であり丸太在庫少ない。雨の影響でトドマツ丸太入荷鈍い。消費は受注増で丸太不足懸念。・ヒノキ丸太は天候不順、人手不足、意欲ないのか思うほど量が出ない。仕事は出ている。・スギ、ヒノキの出材は多少増えてきたがまだ最高値継続中。消費は原木在庫少なく大幅な増産できない。原木在庫は低水準で推移。・ヒノキは9月の記念市の連続で多量の丸太が出た、価格も高騰、10月も続くと予想。毎日残業1時間。消費と入荷のバランス合わず在庫やや減少。ヒノキの入荷はどの地域とも材長をとわず集めにくい、特に4m材は集材できていない。消費はヒノキ好調で消費量を増やしたいが集荷が難しい。ヒノキの在庫は当月は入荷、即生産に当てる流れ。・スギ、ヒノキ丸太は市場への出荷量回復傾向と決算を控え意識的に買い増し。注文は順調だが人員の都合で思うように生産できない。在庫はスギ、ヒノキとも増えた。・スギの入荷は丸太価格上昇のためやや増、消費は需要増のためやや増加。

(原木価格)・大手メーカーの増産で例年より値上がり大きい。・カラマツ、トドマツ丸太は今のところ価格見直しについて各工場様子見だが、次月以降は上げムードと予想。県内市場等では多少値上がり気味特に中目材が不足で値上がっている。ジリ高。・カラマツは減少の一途、トドマツは問題無く集荷。・安く丸太を買えなくなっている。・トドマツは全道的に丸太不足。・ヒノキは市場では無い高で推移。・スギ、ヒノキは原木高継続、不需要期に入らないと安値にならない。・9月に上昇し、10月横ばい、製品価格上がれば原木価格も上がる。ヒノキは10月も販売好調で各製材所とも原木集めている様子、10月は出材量増えるとの話あり。・スギは比較的安いところで安定、ヒノキ柱取、土台取とも強い。・スギは上昇傾向。

25年10月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
生産動向	スギ	45.0	40.0	25.0
	ヒノキ	31.3	25.0	18.8
	カラマツ	100.0	100.0	100.0
	トドマツ	16.7	16.7	16.7
出荷動向	スギ	50.0	60.0	30.0
	ヒノキ	50.0	43.8	12.5
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	16.7	33.3	33.3
在庫動向	スギ	△ 35.0	△ 35.0	△ 20.0
	ヒノキ	△ 56.3	△ 37.5	△ 25.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3

生産は、スギ、ヒノキ及びトドマツはプラス基調で推移、カラマツは特に大きなプラス基調で推移。
出荷は、全樹種ともにプラス基調で推移。
在庫は、カラマツの横ばいを除いてスギ、ヒノキ及びトドマツはマイナス基調で推移。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
スギ	柱角 KD10.5×3	30.0	20.0	5.0
	柱角 KD12×3	20.0	20.0	10.0
	通し柱 12×6	12.5	12.5	6.3
	桁角	12.5	12.5	6.3
	母屋角	27.8	11.1	5.6
	タルキ	25.0	12.5	6.3
	間柱	33.3	22.2	5.6
	ヌキ	12.5	12.5	6.3
	平割	31.3	12.5	6.3
	ラミナ	16.7	16.7	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	42.9	28.6	21.4
	柱角 KD12×3	35.7	21.4	21.4
	土台角 10.5×4	42.9	21.4	14.3
	土台角 12×4	41.7	16.7	16.7
	通し柱 12×6	33.3	16.7	16.7
	ラミナ	16.7	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4		—	—	—
〃 梱包仕組み板		0.0	0.0	50.0
〃 ラミナ		0.0	0.0	50.0
トドマツサンギ		0.0	0.0	0.0

スギ製材品及びヒノキ製材品はともに総じて強保合ないし保合で特にヒノキは強い、なおラミナは総じて横ばい。
カラマツは10、11月の横ばいから12月は大きくプラス。
トドマツサンギは横ばいで推移。

モニターからのコメント

(製材品荷動き) ・トドマツ製材品はオーダーが増加していないため生産、出荷及び在庫とも横ばい。生産は柱材も増だがプレカット工場からの羽柄材の注文が増え残業で対応、乾燥機もフル稼働、出荷は住宅着工が例年より3割増えプレカット工場からの注文が増、県外からの問い合わせも増。生産は人手不足で頭打ち、駆け込み需要でしょう、出荷は順当。・スギ、ヒノキ製材品の出荷は引き合い強く生産が追いつかない。・カラマツ及びトドマツ製材品は9月以降再びフル生産で毎日残業、適材揃わず生産効率上らず効率悪い。カラマツ製材品はランニングストックの関係で在庫増加傾向、トドマツは変化なし。・スギ、ヒノキとも丸太入荷次第、出荷状況は昨年比べて良い、在庫は減っている。・トドマツ製材品は受注旺盛、引き合い強い。フル生産でこれ以上受注難しい。製材品在庫なし。・ヒノキは素材少なく生産を増やせない。荷動きは良い。・出荷最盛期に入り天乾在庫取り崩して生産増、出荷ピークは10～11月、その後も大崩は無いと予想。在庫は回転率高く低水準続く。・ヒノキ製材品は生産したもの全て売れている。生産と販売のバランス合わずヒノキ在庫やや減少。ヒノキは生産、出荷とも11月中頃までは、いい調子、ただし12月は動くもの、動かないものがはっきり分かれそう。・荷動き順調、品目により物不足状態続く。月を追う毎に注文増加、出荷増。売れ筋品目は慢性的に品不足で在庫できず。・スギは需要増のため生産増加も、KDは生産量に限界があるため増産しづらい。

(製材品出荷価格動向) ・カラマツ製材品は原木不足感があるが、製材品価格上らずラミナ一価格も横ばい。本州向けトドマツ材木は型枠大工不足により工事が順調に進まず、オーダーも増えて来ず価格横ばい。価格は変わらず、間柱は外材(WW)の代替として受注増で値上げしたいが、値上げすると外材へ変えるとの声もあり様子見。全商品の売れ行き好調。・ヒノキ土台角は特に不足、柱材も不足。・カラマツ製材品は12月出荷分より値上げ実施。・スギ、ヒノキとも製材品価格は上がらない。・エゾマツ丸太不足だが丸太価格高騰しない限り価格上がらない。・ヒノキ柱は10月に4m10.5角を主体に5,000円/m3価格上げたい(工場渡し70,000円)。ヒノキは交渉中、少しは上がる? ・スギ柱角は順調で少しずつ上がっている、それ以外の製品はできるだけ安定価格を維持したい。ヒノキ柱、土台は3,000～5,000円/m3アップ。・スギ製材品は価格上昇のスギ丸太に対し、なかなか価格転嫁できていない状況。

25年10月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
仕入動向	米マツ丸太	0.0	0.0	0.0
	NZラジアータ	0.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	0.0	0.0	0.0
	NZラジアータ	50.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	0.0	0.0	0.0
	NZラジアータ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

製材用原木は、米マツ丸太は横ばいで推移、NZラジアータは10月の横ばいから11、12月は増加に。
消費は、米マツ丸太は横ばいで推移、NZラジアータはプラス基調で推移。
在庫は、米マツ丸太は横ばいで推移、NZラジアータはマイナス基調で推移。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
米マツ丸太	0.0	0.0	25.0
NZラジアータ丸太	0.0	0.0	50.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

米マツ丸太、NZラジアータ丸太ともに10、11月の横ばいから12月はプラスに。

モニターからのコメント

(原木荷動)

- ・米マツ丸太は入荷、消費及び在庫とも一定と予想。
- ・NZラジアータ丸太は年末が近く国内物流パレット用材増加傾向。

(原木価格動向)

- ・NZラジアータ丸太は中国国内価格上昇。

25年10月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
生産動向			
米マツ製材品	25.0	25.0	0.0
NZラジアータ製材品	50.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ製材品	—	—	—
北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向			
米マツ製材品	0.0	0.0	△ 25.0
NZラジアータ製材品	50.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ製材品	—	—	—
北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向			
米マツ製材品	0.0	0.0	25.0
NZラジアータ製材品	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
北洋エゾマツ製材品	—	—	—
北洋アカマツ製材品	—	—	—

製材品生産動向は、米マツ製材品は10、11月のプラスを経て12月は横ばい、NZラジアータ製材品はプラス基調で推移。
出荷動向は、米マツ製材品は10、11月の横ばいを経て12月はマイナスに、NZラジアータ製材品はプラス基調で推移。
在庫は、米マツ製材品は10、11月の横ばいを経て12月はプラスに、NZラジアータ製材品はマイナス基調で推移。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
米マツ正角	0.0	△ 25.0	△ 25.0
米マツ小割	0.0	0.0	0.0
北洋エゾマツタルキ	—	—	—
北洋アカマツタルキ	—	—	—
NZ梱包材(割板)	50.0	50.0	50.0
NZ梱包材(割角)	50.0	50.0	50.0
NZ土木用材	50.0	50.0	50.0
その他	—	—	—

製材品の出荷価格は、米マツ平角、米マツ小割は横ばい基調、米マツ正角は10月の横ばいから11、12月はマイナスに。
NZラジアータ製材品は、総じて強保合。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

- ・米マツは、在庫を適正水準まで回復させる見込み。
- ・NZラジアータ製材品は年末が近く国内物流パレット用材増加傾向。

(製材品出荷価格動向)

- ・米マツ市況は安定と予想。
- ・NZラジアータ製材品は値上げ依頼中。